

# ともかわさきパラアートニュース

第2号 令和2年6月発行

## ともかわさきパラアート活動

ともかわさきパラアート振興基金では、新型コロナウイルス感染非常事態宣言の4月から5月にも「ともかわさきパラアート絵画展inパブリック」へのご賛同と協力をいただくことができました。

なかはら障害福祉施設ひらま、中原区長室、川崎信用金庫大島支店、幸区長室などにもともかわさき事業所利用者の作品が展示されパラアート絵画を見ていただく機会をつくることができました。ご賛同いただいた皆様に感謝！！

## <高津区役所に>

5月15日、高津区役所に鈴木哲朗区長様をお訪ねしました。区長様からは事前にパラアート絵画を掲示していただけるとの意向を法人の相談交流職員からお聞きしていましたが、改めて「ともかわさきパラアート絵画展inパブリック」の活動をご説明に行きました。

高津区内には、ともかわさきの事業所が区役所から見える末長の山の上に「すえなが」、橘出張所の隣に「ちとせ」、子母口のバス通り沿いに「第1やまぶき」「第2やまぶき」、矢上川沿いの蟹ヶ谷保育園隣に「たちばな」と5箇所もあり、地域でお世話になっております。



区長様も事業所のことをご存じで、早速に今回の趣旨をご理解くださいました。以前からご希望の作品を後日お届けして区長室に展示いただくことになりました。

5月25日にご希望の「COLORFUL・堀井孝真作」を相談交流職員がお届けいたしました。鈴木区長様には作品をすぐにお買い上げいただき、室内には区内の名所を描いた星氏の水彩絵が掲示されていますが、同様に掲示していただきました。区長室への来客の皆様がパラアート絵画に目を留めていただき、高津区内の障害福祉事業への理解がすすむ接点となることも期待しているところです。ありがとうございました。

なお、鈴木区長様からは青木美佐子作の「BUSの絵」のオファーをいただきました。制作者の励みになります。事業所にお伝えしましたので作品ができましたら見ていただきますお待ちください。

## <再び川崎信用金庫大島支店>

5月下旬に川崎信用金庫大島支店様から展示作品をお買い上げいただけるとの連絡をいただきました。

4月30日に「夕暮れ・加藤武之作」をお持ち帰りいただいた大島支店では、すぐに職員の皆さんの目にもとまるようにと支店内の踊場に作品を展示いただいているそうです。職員の方々から「この絵は何ですか」と関心を寄せていただいているとのこと、皆さんの眼にパラアート絵画が触れるという「もかわさきパラアートinパブリック」に相応しい場所に置いていただきました。ありがとうございました。

## <川崎区役所に>

6月3日、川崎区役所に水谷吉孝様をお訪ねしましたが、区長様はあいにく区内の施設へ出かけられているとのことで、区職員の方に「ともかわさきパラアート絵画展inパブリック」の趣旨書を区長様にお渡しいただくようお願いして退散いたしました。

翌々日に水谷区長様からメールをいただき、ご賛同いただけるとのことでした。2作品が気に入ったとのことで、大変ありがたく、すぐにご希望の作品をお持ちする旨ご返信させていただきました。ところが、なんと作品を直に見たいとお申し出をいただき、午後になかはら障害福祉施設ひらまへ来られるとの連絡がありました。

5日の2時に施設にお出でいただきました。まずは、なかはら障害福祉施設ひらまの各施設をご案内して障害福祉施設での活動などをご覧いただきました。その後、展示してあるパラアート絵画を見ていただきご希望の絵画を決めていただくことになりました。決められた作品は当初から気になっていたという「カニ：安藤未央作」と「カーニバル：松本陽聖作」の2作品となり、区長様から買って飾りますというありがたいお話をいただき、作品をお渡ししました。区長様からは、川崎区の久根崎（くねさき）村の医王寺に伝わる「せなかの赤いかに」という話があるので「カニ」の絵、また川崎区ではハロウィーンやよさこい踊りなど賑やかな祭りが多いため「カーニバル」の絵も川崎区にいいなと思って選んだとお話してくださいました。



川崎区内には「ライプリー・わたりだ」、田島町に「かざぐるま」、日進町に「むぎの穂」と事業所があります。よろしくお願ひします。

これからも公共的な場所にパラアート絵画を展示する「ともかわさきパラアート絵画展inパブリック」の活動を進めてまいります。